



なでしこ

【校訓】 かしく なかよく たくましく 【教育目標】 進んで学ぶ子 たがいに助け合う子 かっぱいやりぬく子

令和6年7月1日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 571名

『助け合い チーム谷田っ子』

校長 村田 寿一

今年は、例年より遅い、梅雨入りとなりました。雨が多く、外で遊ぶことができない子ども達は、晴れている日には、待っていましたとばかりに元気いっぱい校庭に駆け出していく姿が見られます。外遊びをする時には、遊ぶ前に水を飲むことや、校帽を被ることなど熱中症予防をよびかけています。また、遊んだ後は、タオルやハンカチで汗をよくふくようにも声をかけています。汗をかいたまましていると、体の調子を崩してしまう原因になります。ハンカチの他に汗ふきタオルがあるとさらに良いと思います。これから梅雨が明けると本格的な夏を迎えます。熱中症対策を徹底していきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも子どもたちにこまめに水分補給をする大切さについて、お声かけをお願いします。

学校では、学級集団を基本にしつつ、班活動、当番活動、縦割り班活動、更に高学年ではクラブや委員会活動など、様々な集団の中で学ぶ機会があります。そこで多くの人と関わり、他の人の良い面を知り自分もそうなりたいという気持ちや実際に真似してみる行動が芽生えること、自分が他の人の役に立つ経験をすることから自己有用感を高めること、など多くのことが期待されます。少し話が変わりますが、Google社が「効果的なチームの特徴」について調査・分析してみたところ、チームが効果的に運用されるには、いくつか要素があるのですが、一番重要なのが、「心理的安全性」だそうです。それをチームの中で醸成するためには、(1)何を言っても大丈夫【話しやすさ】、(2)困ったときはお互いさま【助け合い】、(3)まずはやってみよう【挑戦】、(4)異なる価値観をもつ人を歓迎【新しさの歓迎】を意識することが必要となるとのことでした。このことを知り、子ども達が学ぶ集団も「心理的安全性」が高いものにしていきたいと、改めて考えました。子どもが問題を抱えた際、周囲の大人などの「誰か別の人間」が解決するのではなく、自分の力で乗り越えられる資質を育むことが重要です。

長く続いた新型コロナウイルス感染症の対策の影響や現代の国際社会の一部風潮もあり、個だけをより重視する傾向も見られます。そんな時代だからこそ、また、次の世代を創造していく大切な人材である今の子ども達だからこそ、学校での学習や生活、行事などの機会でのこのような機会を積極的に活用して、子ども達がお互いに助け合い、認め合う行動がとれるようにしていくとともに、自己理解、他者理解、相互理解を深めさせ、良好な人間関係を構築した集団、絆が強い集団を作り出す資質・能力を育成したいと考えます。

安全なプール学習を願って

6月17日にプール開きを行い、今年もUIスポーツクラブさんの協力の元、水泳授業が始まりました。私も初日に様子を見に行きましたが、プールの中から子ども達のうれしそうな声が響き、みんながこの時を待ち望んでいたかのようで、気持ちが伝わってきました。また、いざという時に備え、教員全員でAEDの使用法を含めた救急救命法の研修会を毎年実施しています。この夏も谷田っ子たちの「安心・安全」を守りながら、楽しい活動をささげていきます。